

<特色ある学校宣言文>

夢と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動する生徒の育成を目指し、地域とともに育つ学校づくり

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和6年3月（修了式号） —

URL : <http://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>



狭中だより

【学校教育目標】

『自立と共生』

校長 石原 健

卒業式を終えて…

先日（3月15日）、第43回卒業証書授与式が無事に終了しました。当日は天候にも恵まれ、寒さをあまり気にすることなく、春の温かさを実感できた1日でした。この卒業式を挙げるにあたり、保護者の方々をはじめ多くの方々のご支援とご協力には大変感謝申し上げます。176名の卒業生たち全員が、ここ「狭山ヶ丘中学校」を旅立ち、それぞれが新しいスタートラインに立つことができ、本当に良かったと思います。当日、卒業生は本当に良い表情を見せてくれ、私自身も充実感を感じたとても心地よいひと時でした。この場を借りて一部抜粋ですが校長式辞を紹介いたします。

校長式辞（一部抜粋）

～前半省略～

そんな卒業生に、はなむけとして私から最後の講話を送ります。

先で行われた本校卒業生でもあり、400m日本記録保持者の佐藤拳太郎選手の講演は、記憶に新しいことと思います。その講演会での佐藤選手は、一貫して謙虚な姿勢を崩さず、日本記録保持者だというのに「自分はトップ オブ トップではない」と言っていました。加えて、「怪我で練習ができなくても速くなるためにできることは沢山ある」とどんな時でもポジティブでいる姿勢も示してくれました。自分はまだまだ…というその謙虚な姿勢こそが更なる向上心を産みだし、逆境をもポジティブに捉えるという思考こそが、日本新記録というレベルまで佐藤選手を成長させることができたのだと強く感じました。

自分自身を成長させるためには、自らの努力はもちろん必要です。しかし、自分ひとりの努力には限界があります。そんな時、大切になってくるのが周囲の人の存在です。驕り高ぶらず謙虚であり、目標達成に向けどんな時も腐らず前向きに努力する人は、自然と周りの人から応援してもらえるものです。「周囲を味方にする」そんな人こそ、自分をより高いレベルへ成長させることができるのです。卒業生の皆さん、今の自分がここにあるのも保護者を始め、多くの方々の支えや助けがあつてのことです。そういったことを感じられ、感謝できる人になって欲しいと強く願っています。

結びに、今後の卒業生一人一人の輝かしい前途を祝福し、教職員一同心からエールを送るとともに、健康と幸福を祈り、校長の言葉といたします。

一年間大変お世話になりました。今年一年、大きな事件事故もなく無事に令和5年度を終了することができ、これも保護者の方々のご理解とご協力があつてのことと思ひ、大変感謝しております。次年度も子供を中心に据え、保護者と学校が同じ方向を向いて教育にあたっていけるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。